

令和5年度
学校関係者評価委員会
教育課程編成委員会
報告書



学校法人 九州文化学園
九州文化学園歯科衛生士学院

I. 令和5年度 第1回 学校関係者評価委員会・教育課程評価委員会

1. 日 時 令和5年8月25日(金) 19時00分～20時30分

2. 開催場所 2階 図書室

3. 出席者

【評価委員】

| | |
|-----------|--------------|
| 佐世保市歯科医師会 | 副会長：芥川 卓也 様 |
| 佐世保市歯科医師会 | 理事：村岡 有紀 様 |
| 長崎県歯科衛生士会 | 元副会長：山口 方子 様 |
| 藤原町2組公民館 | 館長：柴崎 政忠 様 |

【委員会事務局】

学院長：大坂良一 教務主任：山田智子
専任教員：田島沙織・山口夏海

4. 欠席者

| | |
|------------|------------|
| 長崎県立清峰高等学校 | 教頭：鶴田 和光 様 |
| 長崎短期大学保育学科 | 教授：花城 暢一 様 |

5. 議 事

1. 開会挨拶
2. 配布資料確認
3. 令和5年度 学校関係者評価委員会 本冊子(P1～P3)説明
4. 九州文化学園歯科衛生士学院 令和5年度事業計画書 説明
5. 質疑応答
6. 令和5年度 第一回学校関係者評価委員会 本冊子(P4～P10)説明
7. 令和6年度学生募集 説明
8. 教育課程編成委員会
9. 質疑応答
10. 閉会挨拶

6. 評価委員からの質問・意見

- ・SDGsの取組について
- ・厚労省 専門実践教育給付金制度について
- ・ブラッシング指導について
- ・スクールカウンセラーについて
- ・臨床実習の準備期間の指導について

II. 令和5年度 第2回 学校関係者評価委員会・教育課程評価委員会

1. 日 時 令和6年2月2日(金) 19時00分～20時30分

2. 開催場所 2階 図書室

3. 出席者

【評価委員】

| | |
|------------|--------------|
| 佐世保市歯科医師会 | 副会長：芥川 卓也 様 |
| 佐世保市歯科医師会 | 理事：村岡 有紀 様 |
| 長崎県歯科衛生士会 | 元副会長：山口 方子 様 |
| 長崎県立清峰高等学校 | 教頭：鶴田 和光 様 |
| 長崎短期大学保育学科 | 教授：花城 暢一 様 |

【委員会事務局】

学院長：大坂良一 教務主任：山田智子

専任教員：田島沙織・山口夏海

4. 欠席者

藤原町2組公民館 館長：柴崎 政忠 様

5. 議 事

【学校関係者評価委員会】

令和5年度報活動報告および自己評価について

- (1)教育活動 (2)学生の支援活動 (3)学生募集・広報活動
- (4)教職員の人材開発 (5)ステークホルダーとの連携強化
- (6)学園内の連携促進 (7)SDGsの推進 (8)管理運営と業務・経費効率化
- (9)施設設備システム等の環境整備 (10)点検評価
- (11)自己評価結果(学生) (12)自己評価結果(職員)
- (13)質疑応答

【教育課程編成委員会】

- (1)次年度の確認

6. 評価委員からの質問・意見

- ・職員の構成について
- ・職業体験事業について
- ・男性歯科衛生士について
- ・高校での歯科衛生士についての職業講話について
- ・バス停名とバスの中でのアナウンスについて
- ・アルバイトについて
- ・スマートフォンの預かりについて

Ⅲ. 学校関係者評価委員による評価

評価基準：4：十分達成している 3：達成している 2：あまり達成されていない 1：ほとんど達成されていない

全体体評価 3.6

| | |
|-------------------|--------|
| 1. 教育活動 | 評価 3.3 |
| 2. 学生の支援活動 | 評価 3.8 |
| 3. 学生募集・広報活動 | 評価 3.5 |
| 4. 教職員の人材開発 | 評価 3.3 |
| 5. ステークホルダーとの連携強化 | 評価 3.8 |
| 6. 学園内の連携促進 | 評価 4.0 |
| 7. SDGs の推進 | 評価 4.0 |
| 8. 管理運営と業務・経費効率化 | 評価 3.7 |
| 9. 施設設備システム等の環境整備 | 評価 3.7 |
| 10. 点検評価 | 評価 3.8 |

【評価委委員より、全体を通しての意見・感想】

- ・魅力的な学院生活を送るため、みんなで囲んでお茶をすとか、調理師学校に頼んで弁当を食べながら会話をしてみたりするのも如何かなと思います。
- ・定員に達してほしいですが、レベルの問題をクリアしなければならないと思います。
- ・1年生の早い時期にいかに衛生士という職業のすばらしさを理解してもらい、そのために必要な知識を得るためにはこれだけの教科を履修しなければならない、そのためには何をすべきか考えてもらう。
- ・成績も重視しなければなりません、資格を取れば一生続けられる職業ですから、患者様に愛される温かい人柄の衛生士を育てていただきたいと思います。
- ・学生募集では、歯科医師会の会報でも発信して頂き、会員の更なる協力を呼びかけてはどうですか。
- ・入学する学生が多様化する中で、歯科衛生士に求められる知識や技術の向上を目指して教職員の皆様が一体となって教育活動を実施されている様子がとても伝わりました。
- ・指導のあり方に苦慮することもあると思いますが、今後も学生支援に向けた取り組みを進めていただければと感じています。
- ・国家試験対策の指導に、大変な工夫と苦勞をなさっていることだと拝察します。
- ・ICTの環境整備は、避けられないものだと考えます。
- ・恵まれた九文グループの環境を刺激にモチベーションをあげることが出来ないかと考えます。